

TAIYO YUDEN Component Library for ANSYS Electronics Desktop Circuit Simulator

インストールマニュアル

目次

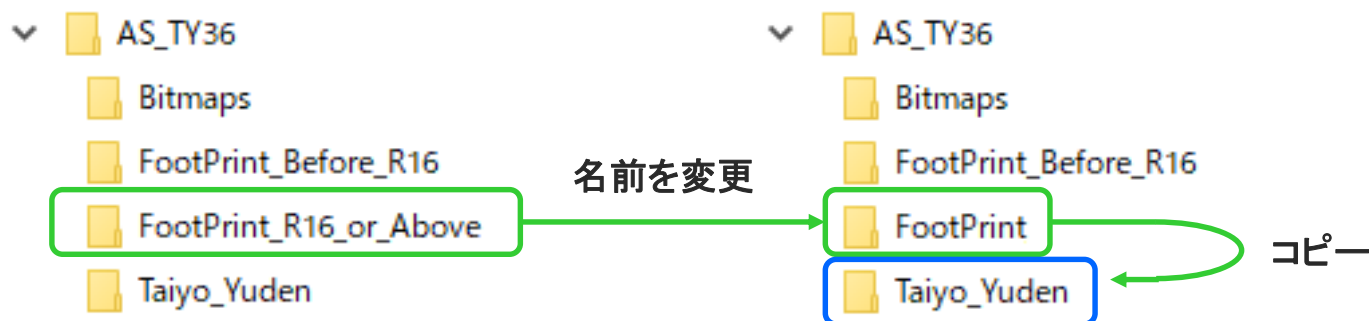
- * コンポーネントライブラリのインストール方法 (P3-P4)
- * コンポーネントライブラリの実用方法 (P5-P8)
- * 旧バージョンでのライブラリインストール追加手順 (P9-P11)
- * 旧バージョンでモデルの解析ができなかった場合 (P12)

コンポーネントライブラリのインストール方法

Step 1. AS_TY**.zip を解凍します。

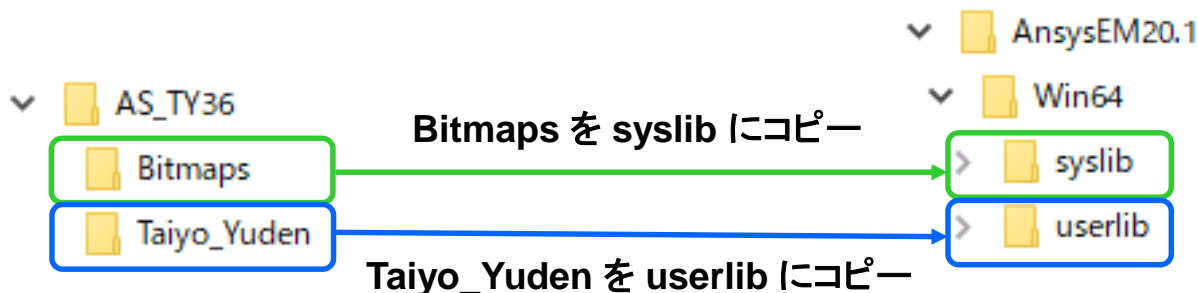
Step 2. R16.0 またはそれ以降のバージョンをお使いの場合は、解凍したフォルダ内の FootPrint_R16_or_Above フォルダを、R16.0 以前のバージョンをお使いの場合は、FootPrint_Before_R16 フォルダを FootPrint に名前を変更して、Taiyo_Yuden フォルダにコピーします。

R16.0 またはそれ以降のバージョンの場合の例



コンポーネントライブラリのインストール方法

Step 3. Bitmaps フォルダと Step 2 作業後の Taiyo_Yuden フォルダを、
下図の Electronics Desktop がインストールされているフォルダ内の所定の
フォルダ(*1, *2)にコピーしてください。以上でインストールは完了(*3)です。

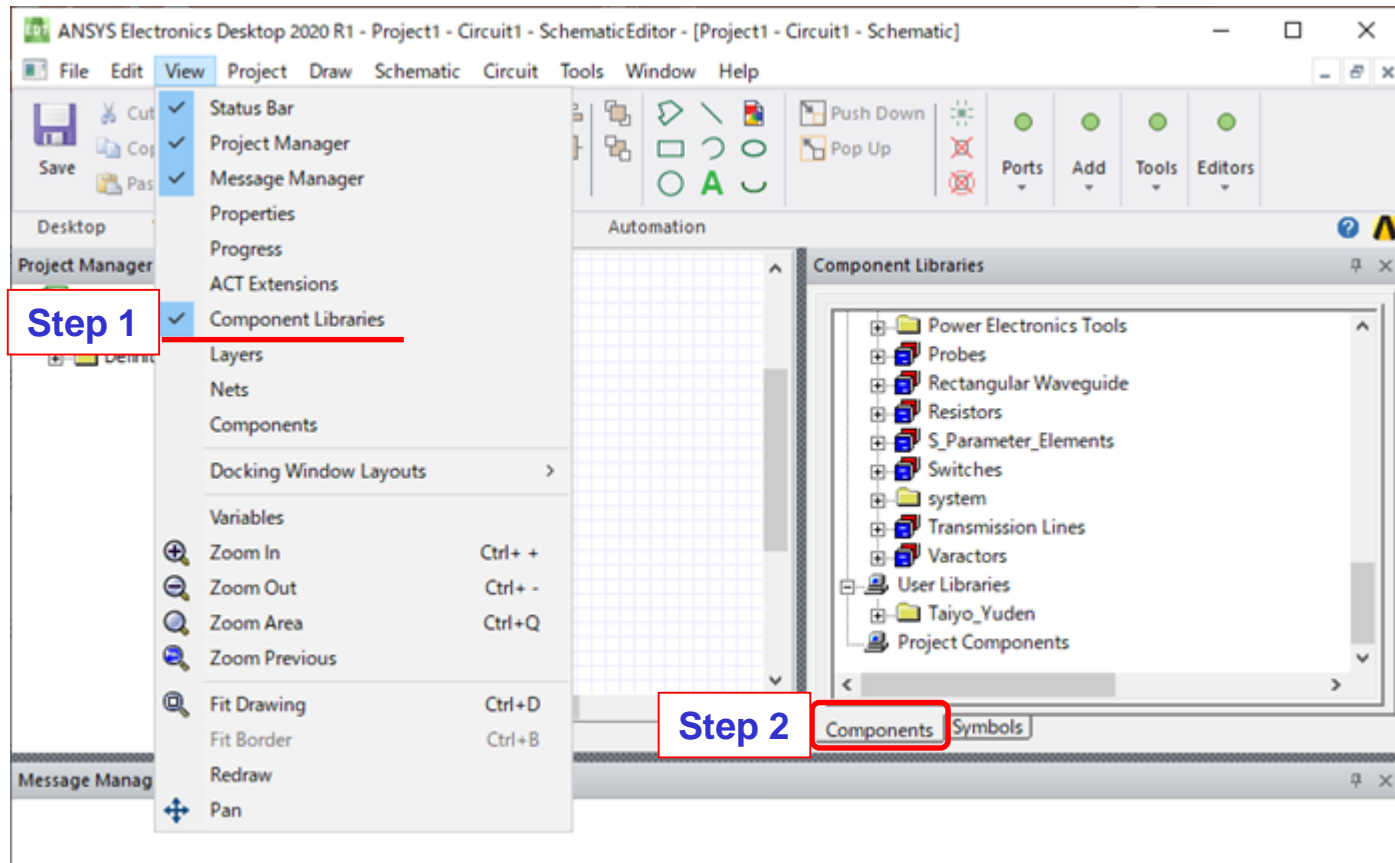


- *1 以前のバージョンのコンポーネントライブラリがインストールされている場合、インストール前にあらかじめ userlib フォルダから Taiyo_Yuden フォルダを削除してください。
- *2 Electronics Desktop または ANSYS Designer が旧バージョンの場合、インストールフォルダ内に Bitmaps フォルダがある場合があります。その場合は、ライブラリの Bitmaps フォルダを直接インストールフォルダにコピーしてください。
- *3 Electronics Desktop または ANSYS Designer が旧バージョンの場合、追加手順が必要な場合があります。ファイルのコピーだけでライブラリが認識されない場合は、P9～P11 を参照してください。

コンポーネントライブラリの使用方法

Step 1. Circuit Design の編集画面で、メニューバーから View -> Component Libraries を選択します。

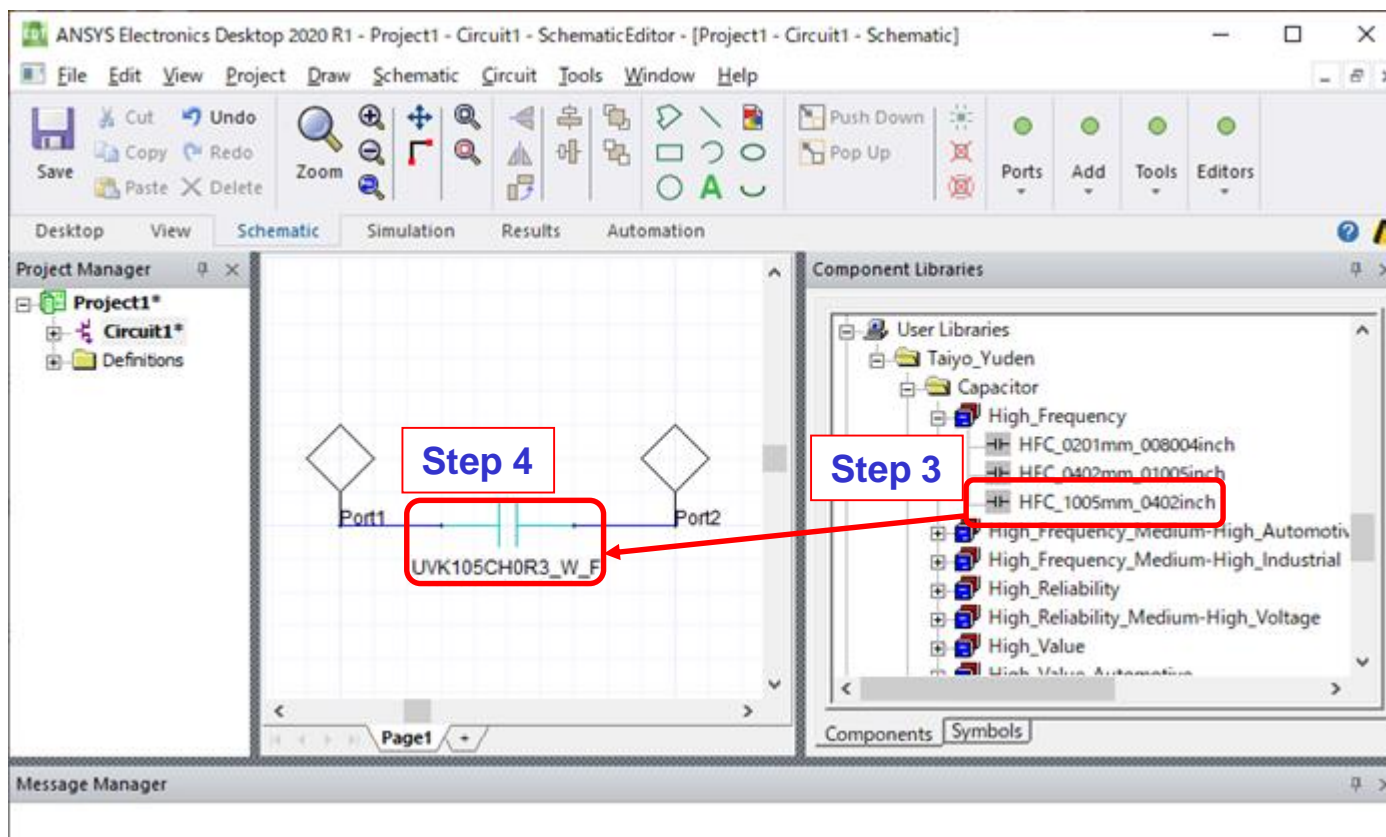
Step 2. Component Libraries ウィンドウの Components タブを選択します。



コンポーネントライブラリの使用方法

Step 3. User Libraries の Taiyo_Yuden フォルダから目的の部品をダブルクリックし、回路図に配置します。

Step 4. 回路図上の部品をダブルクリックします。



コンポーネントライブラリを使用する方法

Step 5. Choose Model ボタンを押します。

Step 6. Model List ウィンドウから目的のモデルを選択し、OK ボタンを押します。

Step 7. Sim Model の横のセルをダブルクリックし、S-parameter と EquivalentModel(等価回路)の中からモデルタイプを選択します。

The image shows two overlapping dialog boxes from a software application. The top dialog box is titled 'Xt:HFC_1005mm_0402inch Properties: Project1 - Circuit1' and has tabs for 'Parameter Values', 'Component', 'Symbol', and 'Property Displays'. The 'Parameter Values' tab is active, showing a table with columns: Name, Value, Unit, Evaluated Value, Description, Callback, and Override. The 'SimModel' row is selected, and a dropdown menu is open showing 'S-parameter' and 'EquivalentModel'. A red box labeled 'Step 7' highlights the 'SimModel' cell, and another red box labeled 'Step 5' highlights the 'Choose Model' button at the bottom of the table.

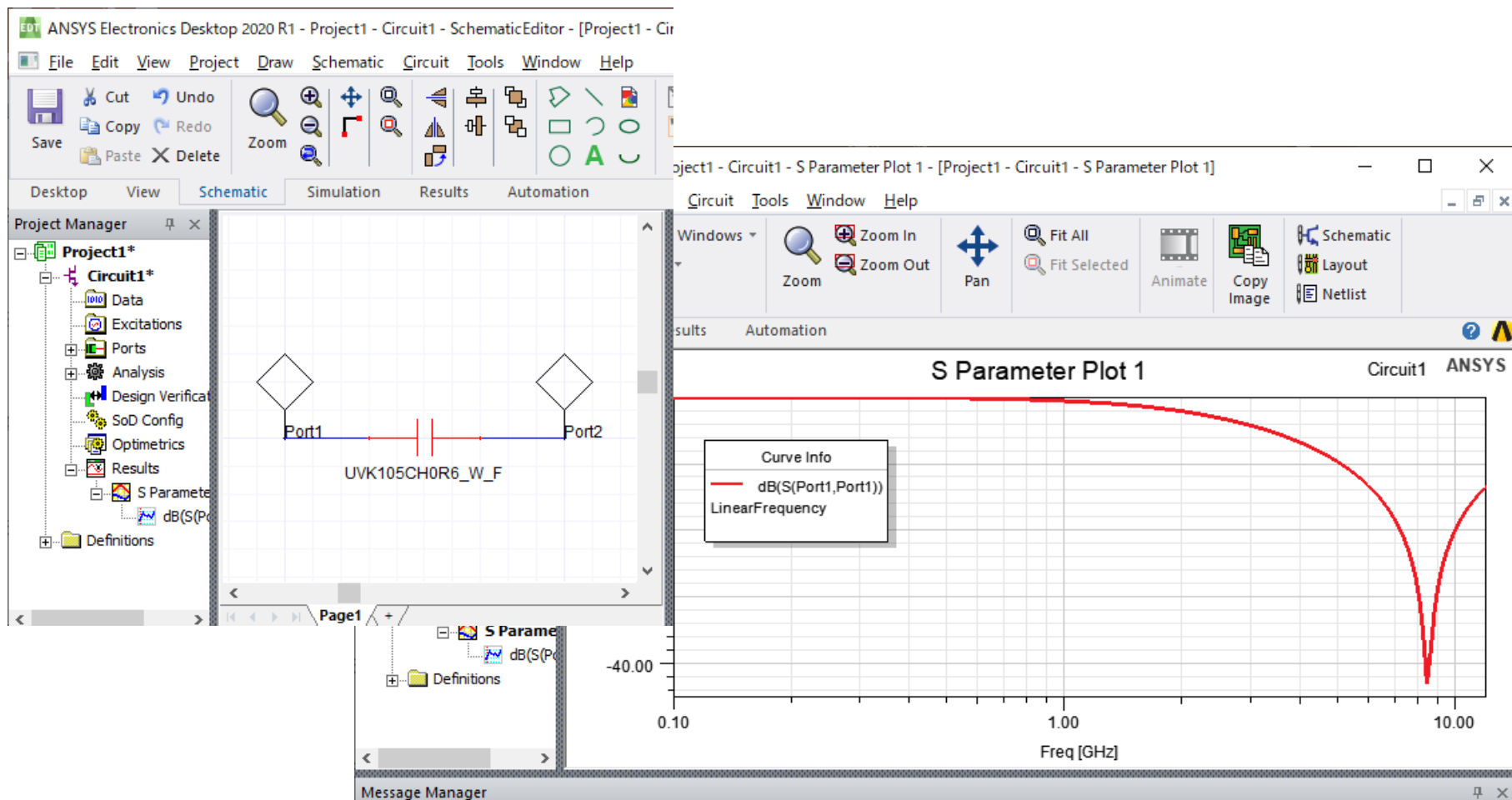
The bottom dialog box is titled 'Model List' and contains a table with columns: Model, Capacitance[F], Temperature characteristics, Rated voltage[V], Case size[mm/inch], Thickness[mm/inch], and Freq range. The row for 'UVK105CH0R6_W_F' is highlighted in blue. A red box labeled 'Step 6' highlights the 'Model List' window, and another red box labeled 'Step 6' highlights the 'OK' button at the bottom.

Name	Value	Unit	Evaluated Value	Description	Callback	Override
Model	UVK105CH0R6_W_F				...	<input checked="" type="checkbox"/>
SimModel	S-parameter				...	<input type="checkbox"/>
DeviceLibrary...	S-parameter				...	<input type="checkbox"/>
NexximLibrar...	EquivalentModel				...	<input type="checkbox"/>
VComp	Choose Model				...	<input checked="" type="checkbox"/>

Model	Capacitance[F]	Temperature characteristics	Rated voltage[V]	Case size[mm/inch]	Thickness[mm/inch]	Freq range
UVK105CH0R3_W_F	0.3 p	CH/COH	50	1.0 x 0.5 / 0.039 x 0.02	0.5 / 0.02	300000Hz - 10
UVK105CH0R4_W_F	0.4 p	CH/COH	50	1.0 x 0.5 / 0.039 x 0.02	0.5 / 0.02	300000Hz - 10
UVK105CH0R5_W_F	0.5 p	CH/COH	50	1.0 x 0.5 / 0.039 x 0.02	0.5 / 0.02	300000Hz - 10
UVK105CH0R6_W_F	0.6 p	CH/COH	50	1.0 x 0.5 / 0.039 x 0.02	0.5 / 0.02	300000Hz - 10
UVK105CH0R7_W_F	0.7 p	CH/COH	50	1.0 x 0.5 / 0.039 x 0.02	0.5 / 0.02	300000Hz - 10
UVK105CH0R8_W_F	0.8 p	CH/COH	50	1.0 x 0.5 / 0.039 x 0.02	0.5 / 0.02	300000Hz - 10
UVK105CH0R9_W_F	0.9 p	CH/COH	50	1.0 x 0.5 / 0.039 x 0.02	0.5 / 0.02	300000Hz - 10
UVK105CH0R10_W_F	1.0 p	CH/COH	50	1.0 x 0.5 / 0.039 x 0.02	0.5 / 0.02	300000Hz - 10

コンポーネントライブラリの使用方法

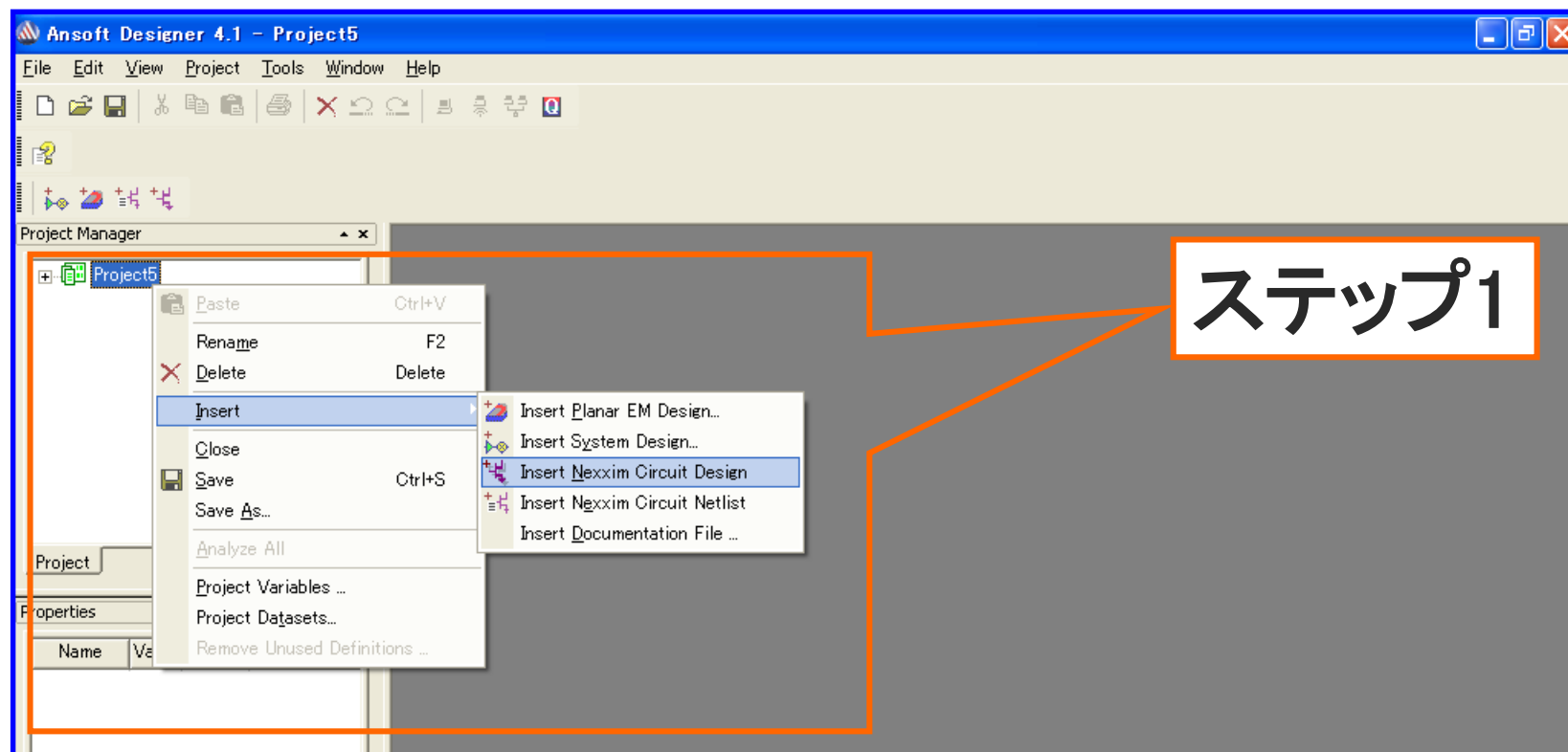
Step 8. 目的のモデルを配置した回路図で解析を行ってください。



* Nexxim エンジンを使用した旧バージョンで、モデルの解析ができない場合、P12 を参照してください。

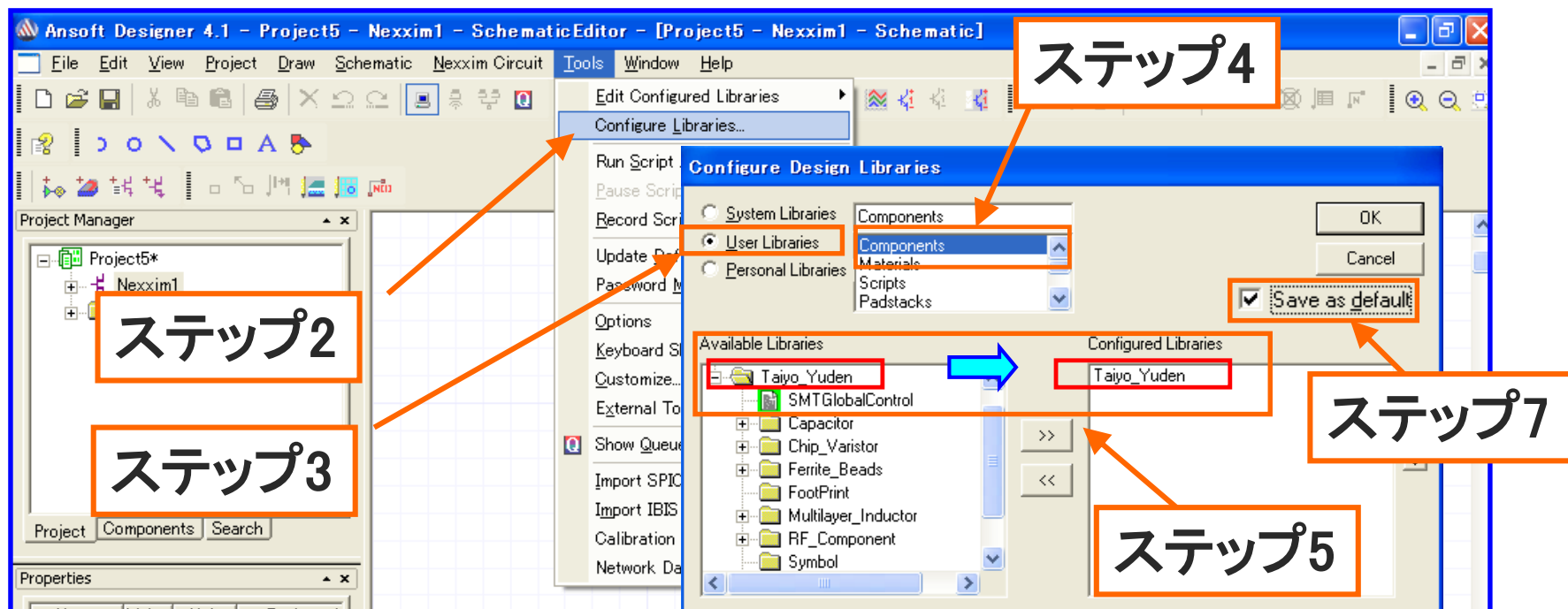
旧バージョンでのライブラリインストール追加手順

以下、ANSYS Designer 4.1 を例に説明していますが、他のバージョンでも概ね同じような手順になります。



1. ANSYS Designerを起動後、Project Manager内のプロジェクト名(ex.Project1)をマウスで右クリックし、Insert > Insert Nexxim Circuit Design を実行します。
→スキマティックウィンドウが開きます。

旧バージョンでのライブラリインストール追加手順



- スキマティックウィンドウを開いた状態で以下を実行します。
2. 上のツールバーの Tools > Configure Libraries... をクリックして Configure Design Libraryダイアログを開きます
 3. User Librariesのボタンを選びます。このときに
“Taiyo_Yuden”が格納されているのを確かめてください。
 4. Componentsを選んでください。
 5. Taiyo_Yuden のフォルダを選択し、>> ボタンで Configured Librariesに移動させます。
 6. この手順(Step4 - 5)をSymbolsとFootprintsに対しても行ってください。
 7. “Save as default”にチェックを入れ、OKをクリックしてください。

旧バージョンでのライブラリインストール追加手順

Nexxim エンジンを使用しないバージョンでは、以下の手順は不要です。



8. ANSYS Designer を再起動します。

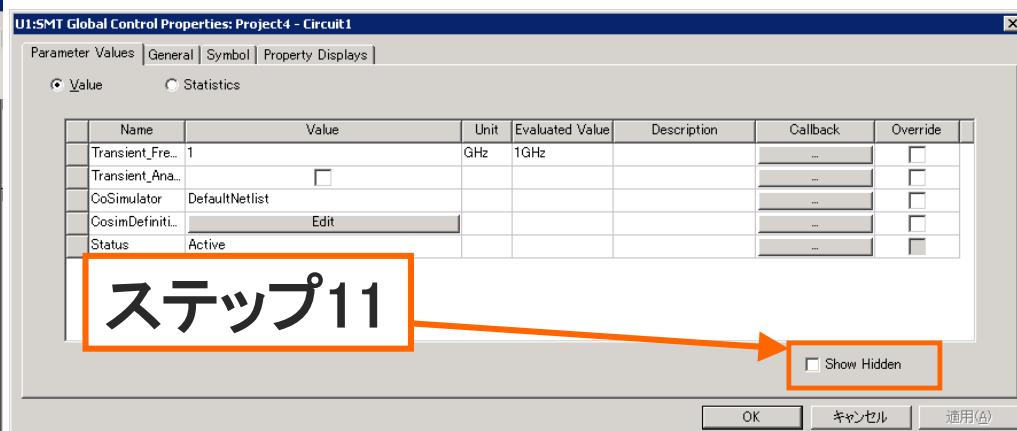
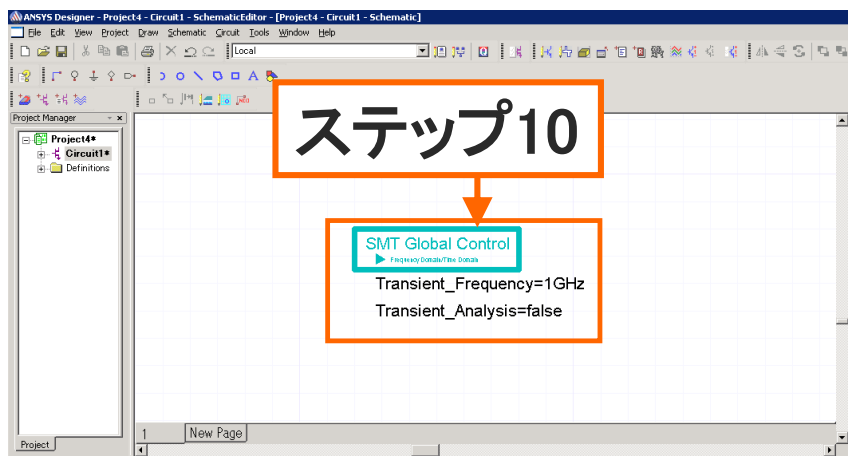
スキマティックウィンドウを開いた状態で以下を実行します。

9. Components タブをクリックして User Libraries → Taiyo Yuden → SMT Global Control を選択し、スキマティック上に配置します。

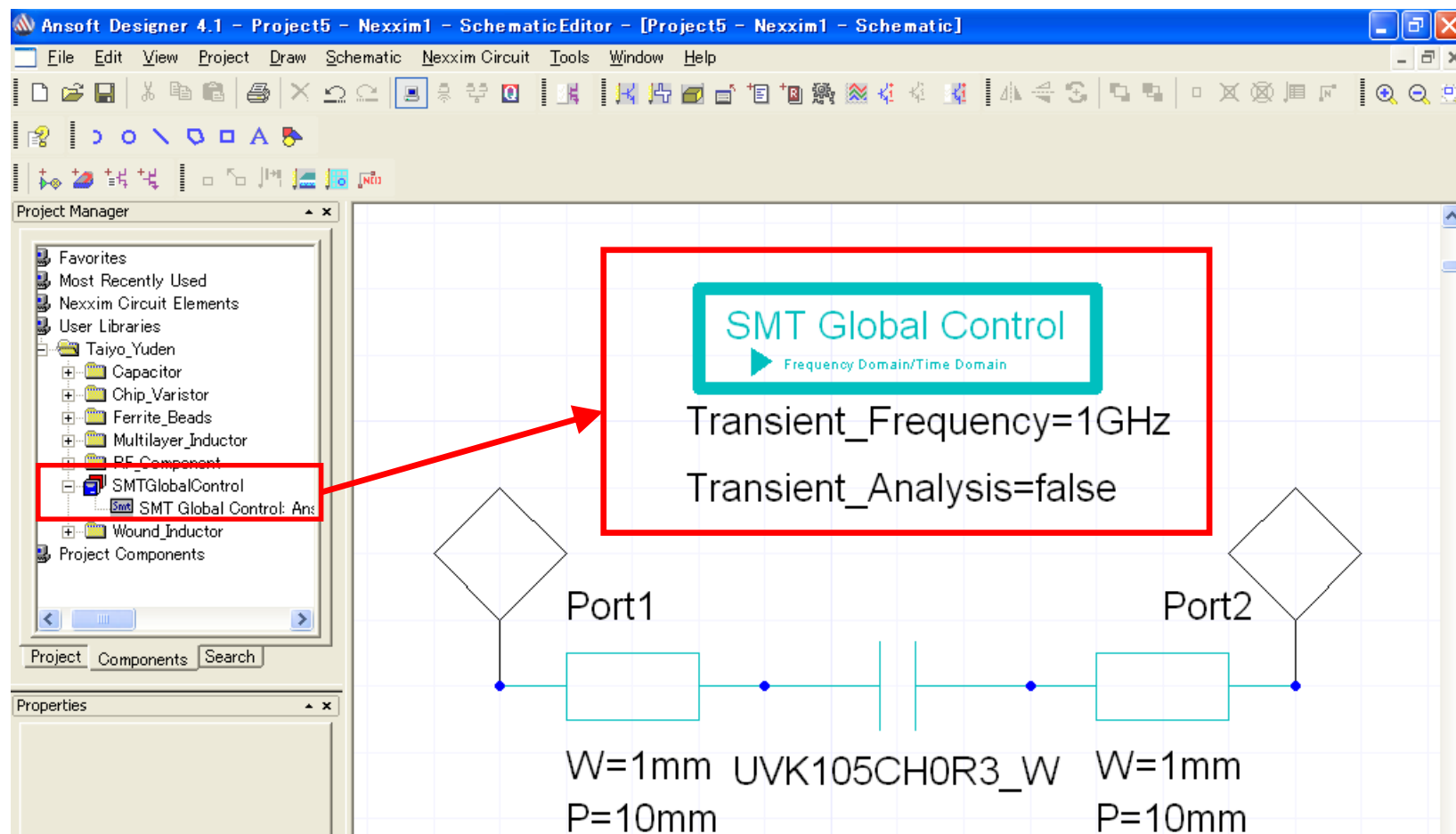
10. 配置した SMT Global Control をダブルクリックし、プロパティウィンドウを開きます。

11. Show Hidden のチェックを外し、OKをクリックしてください。

以上で、ライブラリの設定は終了です。



旧バージョンでモデルの解析ができなかった場合



1. Taiyo_Yudenの中の[SMT Global Control]を配置して下さい。
2. トランジェント解析を行う場合は、[SMT Global Control]のプロパティで、[Transient_Analysis]にチェックを入れて下さい。また、[Transient_Frequency]には、解析する信号の基本周波数を設定して下さい。

TAIYO YUDEN